

第40回館山若潮マラソン大会について

～運営方法の変更について～

令和2年1月26日、館山の早春の一大イベント、館山若潮マラソン大会が開催されます。昭和56年の第1回大会から、節目の40回大会を迎える今大会は、台風15号などの甚大な被害による影響が心配されましたが、無事に開催できる運びとなりました。

最終のエントリー数は、速報値となりますが、1万577人（前回比△675人）となり、9年連続1万人を超える申し込みを頂きました。

合計10,577人 内訳：フル6,595人 10キロ2,645人 ファミリー471件

参加される多くのランナーをお迎えし、大会を運営している市職員は、例年、前夜祭と当日を合わせて、約300人になります。

このような中で、館山市では台風15号等の被害からの1日も早い復興を遂げるため、現在、被災者支援に全力を挙げて取り組んでおり、その業務に連日多くの職員が従事しています。そのため、今回の若潮マラソン大会に多くの職員が従事できなくなりましたが、以下のとおり運営方法を見直すことで大会を開催します。

このような状況での開催となりますが、節目の40回大会であり、令和時代で最初の大会でもあります。国内外からの参加される多くのランナーの熱い思いとご支援を復興の力に変えて、“スポーツ観光都市館山”として、大会を成功させたいと考えています。

■変更内容

- ① 大会前日又は当日の受付を行わず、ナンバーカード等を事前送付する。
- ② 紙の記録証を廃止し、ウェブ記録証を導入。（※有料での記録証の発行あり）
- ③ 前夜祭の中止。（※主催者の館山市観光協会へ運営方法の変更を説明したところ、主催者が中止を判断）
- ④ 一部の係に外部からのマンパワーを導入。

■従事職員の不足への対応

- ・既に締結済みの記録集計等業務の受託業者は、大会運営のノウハウも兼ね備えていることから、事前送付及びウェブ記録証の発行業務に加え、市職員の業務の一部も委託することでスムーズな大会運営を図る。
- ・上記の運営方法の変更は補正予算で対応。その財源にスポーツ振興基金を充てる。